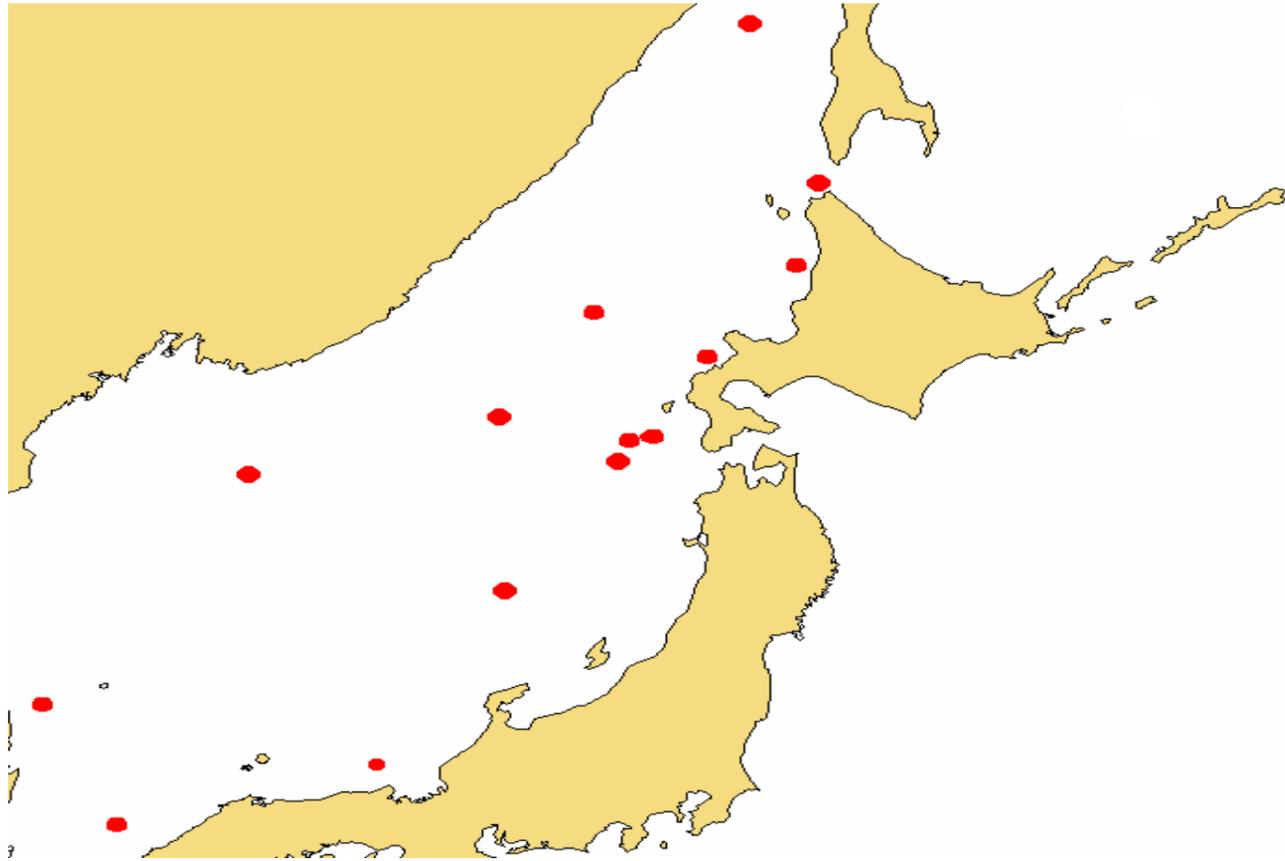


過去の木材流出事故発生海域



気象・海象情報の入手

日本海では、特に冬季に強い北西の季節風が吹きますので航行に際しては気象・海象情報の入手に心掛けましょう

- 1 出港前には天気予測のための十分な情報収集を行い、安全かつ余裕のある航海計画を立案すること
- 2 航海中は気象FAX、インマルサットEGC、ナプテックス、インターネットホームページ等により、天気図及び波浪図を定期的に入手し、より平穏な海域にコースを選ぶこと
- 3 万一荒天に遭遇した時は、船体に打ち付ける波浪の衝撃を緩和するため減速、変針等の措置をとること



荷崩れ防止対策の徹底

日本海では、荒天時による荷崩れが多発しています。荷崩れ防止のため次の事項に心掛けましょう

- 1 支柱は3m以下の適当な間隔で配置し、十分な強度を有すること
- 2 甲板積み木材は出来る限り密に積み付け、3m以下の適当な間隔でラッシングすること
- 3 沈木等の重い木材は下積みにすること
- 4 甲板積みの木材の最終形はクラウン型にすること
- 5 甲板積み木材の高さは、船幅の3分の1を超えないこと
- 6 航海初期は船舶の振動等でラッシングが緩みやすいため毎朝点検を実施すること



早期避難の励行

航行の危険を感じたら、早めに避難しましょう。また、緊急入域する際は最寄りの海上保安機関へ通報しましょう

木材流出時の早期通報

日本周辺海域において木材を流出させた場合には、速やかに最寄りの海上保安機関へ通報しましょう

